

發炮よりも猶もるどく。樓小棟で攻起るが。遂に外防謀を破り。統  
三小勇で我より。當方を拒抗勇士共。猪子兵助信好。園平八郎宗右  
村井長門守父子三人。あまのの兵士百餘人。水も湯にやり。磚も火も

をり。に我ひるが。魁をうける猪子兵助。一期を看する當日の旗相を志  
華威の大鑑。同系綱の頭形。此魁三尺四寸の太刀打振。左方を當て頑投

園平八郎。左系宗近の子なり。又宗近の右松院。晴公の軍師たり。白系威の  
甲冑に力も猪子より。似たる。三尺四寸の利刃。又小く。瀑布此處に當るが

像く。進兵の右方を斬起す。二務相並で殺奪し。され。明智の勇士。神長太  
兵衛房武。村上和泉。呼號す。此基石武者。哨へ罵ると。撃退人と。突て出

バその際より。比田帯刀。刺家。哨へ罵ると。刺て中へんと。薙刀打振。馳向ひ。雙方  
曰勇士。十六蹄。沙汰踏。是小石を踏起。八の馬肩。甲廿八の。系綱もとも。子龍

飄々として。鎗銃刀銃。鏑。四士の烈我。さながら。に。那羅延。神が。二羅刹と。黃  
王。戎。争ふ。如く。あり。神谷の猪子と。搦戦して。遂に。兵助を。撃退。比田。渾身

此力を揮ひ。漸く。園を。刺果。せり。村井。親子も。遠隊を。去。敵兵。多く。撃  
退。て。乱軍。中。に。我。死。せり。斯の。如く。名。を。た。勇士。野。撃。頭。を。と。い。ども。城

中。に。の。あ。を。二。百。餘。人。と。び。く。防。に。我。た。れ。バ。急。に。六。落。城。と。く。も。見。え。び。攻  
便。で。在。る。が。明智。光。俊。指。揮。して。い。ふ。中。う。意。得。ざる。者。今。日。に。我。敵。の。不。勢。

自。方。の。大。軍。一。討。も。改。乾。づ。き。も。動。バ。自。方。の。兵。革。迄。失。起。り。の。是。也。と。い。く。  
公。威。も。恐。る。も。その。あ。ら。ん。茲。も。究。竟。の。事。こ。そ。は。是。也。嚙。着。よ。西。山。百。步。の。う

ち。小。高。く。聳。つ。殿。結。核。あり。を。清。敵。の。下。二。条。の。城。を。眼。下。小。着。却。し。事  
張。計。る。も。最。も。妙。あり。斯。く。せ。よ。と。命。じ。る。に。ぞ。諾。得。たり。と。二。百。餘。人。餘

て。光。秀。が。秀。統。の。秘。術。を。も。つ。と。學。得。し。れ。を。ま。げ。被。敵。頭。は。走。り。大。石

二画相の火  
矢と物  
の具と物  
之是持た  
かつては  
宜し固く  
画くもの歟